

本庄市 施政方針

本年は、平成20年度に策定したまちづくりの指針である「本庄市総合振興計画」の最終年度にあたります。次期計画の策定を見据えつつ、「世のため、後のため」の理念のもと、次の時代に「つなぐ」べく、市政のさらなる発展に取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りたいと存じます。

行政経営に関する 基本的な考え方

少子高齢化や人口減少の進行、甚大な被害をもたらす自然災害など、わが国の社会は困難な課題に直面しており、特に、急速に進む人口減少問題の克服は、最大かつ喫緊の課題となっております。また、人と

人との関係が希薄な超高齢化社会の中で、家族や地域における互いの支え合い、つまり、人間同士を「つなぐ」ことが求められています。また、モノとモノを「つなぐ」、さらには、人と人とを「つなぐ」、人・モノ・コトをつなぐ時代です。本年はこの「つなぐ」を理念とし、行政経営を進めてまいります。平成29年度も引き続き本市の地方創生を力強く進め、「人も地域も元気で健康な都市本庄」を目標に、「人を呼び込む健全なまちづくり」の実現を目指し、「人口減少への対応」、「地域経済の活性化」、「地域の特性を活かしたまちづくり」を重点的・優先的な施策として取り組んでいきます。

予算編成の 基本的な考え方

わが国の経済は、政府による経済対策や政策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、民需を中心とした景気回復が見込まれています。

本市の財政状況ですが、歳入の根幹をなす市税においては、法人市民税の伸びは見込めるものの、個人市民税は、伸び悩みの状況にあります。また、将来人口が減少傾向にある中で、社会保障経費の増加や公共施設の維持・更新に対応するなど、将来にわたり持

続可能なまちづくりを進めることが重要な課題となっております。

このような状況を踏まえ、平成29年度の予算編成は、既存事業の見直しや新たな発想による事業の創出を行うことで、安定した雇用の創出、交流・定住人口の増加、若い世代の結婚・出産・子育ての支援、地域連携の促進などを積極的に進め、本市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち本庄」世のため、後のため」の実現を目指すものとなりました。



平成29年度 予算

平成29年度の各会計予算が、市議会第1回定例会で可決されました。新年度予算の概要をお知らせします。

予算総額 **515億7,470万円**
(前年度と比べ、7億3,925万円の減少)

- ▶一般会計 **283億7,300万円**
- ▶特別会計 **173億9,406万円**
- ▶企業会計 **58億764万円**

▶会計別予算

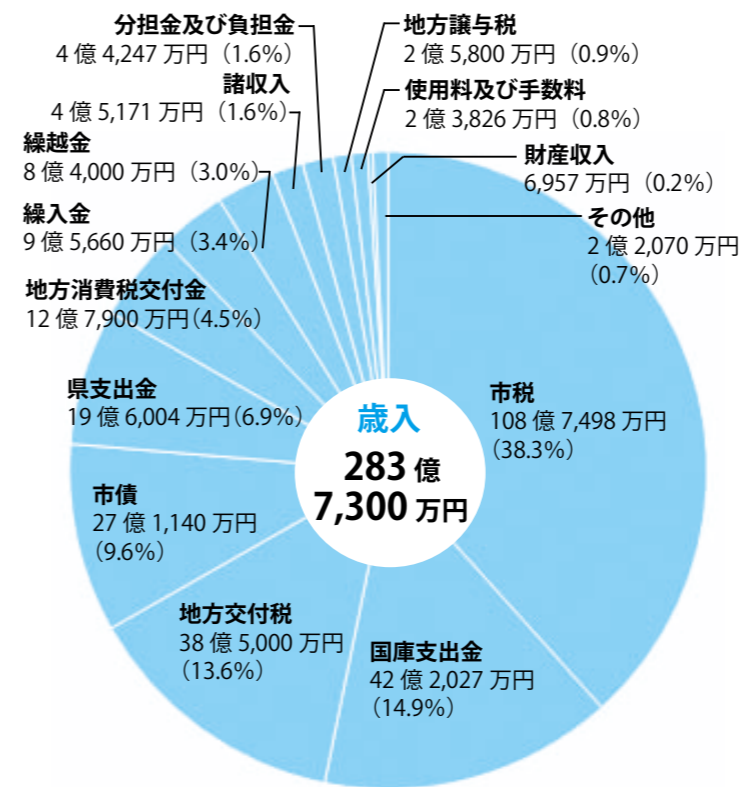
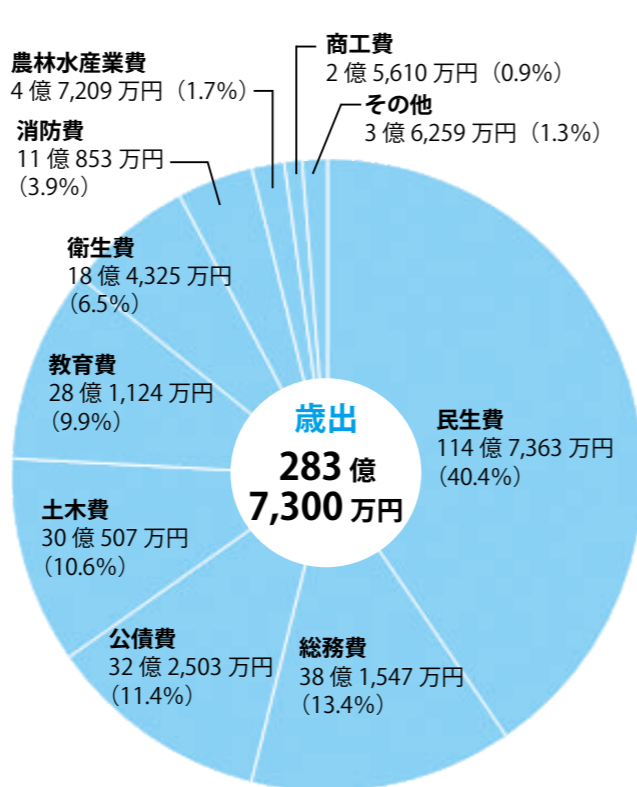
区分	予算額	増減率
一般会計	283億7,300万円	△4.5%
特別会計		
国民健康保険特別会計	103億2,380万円	4.7%
住宅資金貸付事業特別会計	349万円	△19.9%
農業集落排水事業特別会計	5億5,587万円	△17.1%
介護保険特別会計	57億3,004万円	4.0%
後期高齢者医療特別会計	7億8,086万円	1.9%
企業会計		
水道事業会計	25億8,992万円	△2.5%
下水道事業会計	32億1,772万円	6.6%
合計	515億7,470万円	△1.4%

※水道事業会計、下水道事業会計は、収益的支出及び資本的支出で集計

収益的支出：施設の維持管理にかかる経費の支出

資本的支出：施設をつくるための経費の支出

▶一般会計予算の構成



▶市民1人当りに換算すると

項目	金額
■市民1人当たりが負担する市税	
固定資産税	61,539円
市民税	57,598円
都市計画税	8,419円
市たばこ税	7,574円
軽自動車税	2,547円
1人当たり	137,677円
■市民1人当りに使われるお金	
民生費	145,256円
総務費	48,304円
公債費	40,829円
土木費	38,044円
教育費	35,590円
衛生費	23,336円
消防費	14,034円
農林水産業費	5,977円
商工費	3,242円
その他	4,590円
1人当たり	359,202円